



## 鎌迫章太郎

Shotaro Kamasako

2016年入社  
三条市出身、加茂高校卒業

**Q アベキンを選んだきっかけは？**  
アベキンという会社の存在は、合同会社説明会で初めて知りました。普通科高校卒業のため、機械に関する知識はありませんでしたし、この業界の知識が何もないまま、アベキンが作った海外高級メーカーの家具を見て、素直に「かっこいいな。こういうものづくりに携わりたくない」と思いました。元々ファッショョンやデザインが好きだったこともあり、きちんとデザインされた、ス



自社インテリアブランド

タイリッシュなものを作ることに憧れを持ちました。  
**Q 実際に家具や什器作りに携わるようになって、どうですか？**  
現在は塗装前の擦りの勉強をしています。勉強の一環として、家具店やインテリアショップに出掛けて他社製品の家具をチエックしますが、うちの製品はやっぱ塗装もきれいだし、金属を折って曲げるような複雑な加工も多い。全ての工程で手間がかかっているなと実感します。

1枚の板から製品を作り上げる。  
そこにもものづくりの醍醐味がある。



来夏開設予定のつばめ物流センター工場

**Q 仕事でやりがいを感じる点は？**  
自分が手掛けた店舗什器が、実際に店で並んでいるところを見ると、やりがいを感じますし、とてつもなく大きなモチベーションになります。高級家具メーカーの製品だったら、「これ、自分が作ったんだよ！」ってみんなに自慢したくなるじゃないですか。  
**Q 将来の夢や将来像は？**  
今はある程度形になった物の加工しかできないのですが、いずれは1枚の板から、さまざまな形のパーツを取り、溶接で組み上げ、仕上げを施すという全工程をできるようにしたいですね。「ゼロから一つの製品を作りあげた」という、より大きな実感を得られるような気がします。  
**Q ものづくりを目指す高校生や大学生に向けて、アドバイスをお願いします。**  
うちの会社は一貫生産を売りにしているだけあって、さまざまな工程を自社で行なっています。だから、とにかく飽きる暇がない。自分一人で0から10までできるって、大きなやりがいになります。全く知らない業界でも、思い切って飛び込んでみる価値はあると思います。特にデザインが好きなのは、ものづくりの裏側を見られるこの仕事が好きになると思います！

高校生のみなさんへ

創業75年で培った確かな技術と柔軟な対応力で「自社ブランドの確立」を目指します。

私たちはオフィス家具、店舗什器、ディスプレイなどの製造、いわばものづくりに携わりながら発展してきました。設計から完成まで、携わった商品は県内だけでなく、スポーツジムやコンビニなど全国で身近に触れる機会があります。自ら関わった商品が普段目の前で見ることができるとは嬉しいですし、とても大きいです。私たちは今後、スチール製品の分野で「自社ブランドの確立」を目指していきます。

**KAK ABEKIN** 株式会社アベキン

事業内容 | スチール製の家具や店舗什器などの製造・販売  
本社 | 〒959-1276 燕市小池1548  
連絡先 | 0256-66-2531

